

平成24年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け	1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	教育委員会生涯学習部
めざすまちのテーマ等 5 心豊かに学びいきいきと活動するまち		職名	部長
施策項目	(2)学校教育の充実	氏名	百井 宏己
		TEL	72-3170

【1 施策の目的】

学校教育環境の整備・支援により、地域の特性を活かしながら、確かな学力と豊かな人間性、健康と体力など、生きる力を育むとともに、子ども達一人ひとりが、楽しく学び、生き生きとした学校生活を送ることができるまちをめざす。

【2 戦略計画における現状と課題】

社会変化に即した教育内容の充実に加え、いじめなどの問題行動や不登校への対応、特別支援教育の推進など、幼児・児童生徒一人ひとりを大切にす、よりきめの細かい教育活動が求められている。

また、子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれることのないよう、登下校などの安全対策のほか、少子化による児童生徒数の減少を踏まえた学校の適正規模の確保および配置、さらには施設・設備の老朽化、耐震化に対応した、安全安心な教育環境の計画的な整備が求められている。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H22実績値	H28目標値	
指標1	小中学校の教育内容に満足している市民の割合					%	20.4	↗	
指標2									
指標3									
指標4									
	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H22実績値 との比較		H28目標値 との比較	
指標1	19.9	25.1	22.4	20.4	23.4	○		○	
指標2									
指標3									
指標4									

○向上、×低下 ○到達、×未達

【4 1次評価(担当部長評価)】

(1) 施策の推進状況とその評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者の活用による学習内容や方法の充実、また、時代の要請でもある外国語教育やICTの活用にもソフト、ハード両面からの取組を行った。 ・喫緊の課題である耐震化については、耐震化100%に向け計画的に取り組んでいる。 ・社会全体の課題でもある安全、安心に関する問題、また、子どもたちの学力については、本市においても重要な課題である。 ・指標については、増加傾向にあるものの、近年価値観の多様化等を背景とした、学校に求めるものや学校の役割などが変化してきている状況を把握する必要等がある。 		
(2) 本施策に関する課題とその改善の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教育の推進 生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ・教育の情報化の推進 分かりやすい、効率的な授業づくりへの支援を行う。 ・学校の耐震化の推進 耐震化100%を実現する。 		
(3) (2)に関する具体的な対応策、改善事項 ※具体的な事業名を併記		
(重点化)	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者の拡大による外国語教育の充実 ・教育情報化推進の方針を検討 ・耐震補強工事等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語指導助手招致事業 教育情報化整備事業 小中学校施設整備事業
(手法改善)		
(縮小)		

【5 パブリックコメント】

--

【6 外部評価（対象施策・行政評価委員会）】

(1)1次評価の内容に関する意見
(2)課題とその改善の方向性に関する意見
(3)具体的な改善策に関する意見、その他個別事項等に関する意見

【7 中間精査（1次評価「具体的な対応策、改善事項」のフォローアップ・担当部長）】

(1) 1次評価からの変更点

【8 最終評価（行政評価会議）】

(1) 拡充(重点化)を図る事項(新規事業を含む。)
(2) 手法改善を図る事項
(3) 縮小(統合)を図る事項

施策名 学校教育の充実

	事業費	人件費	総コスト
平成23年度施策コスト	1,868,010	187,323	2,055,333 千円

市民一人あたり
33,694 円

施策の体系	事業名	担当課	H23決算				事務事業の概要	今後の方向性(1次評価)	優先度			
			事業費	その他 間接経費	従事職員数 (関係課含)	総コスト (人件費含)			高い	極めて 高い	高くない	
												うち一般財源
①学習内容・学習指導の充実												
1	外部指導者活用事業	学校教育課	3,245	3,245		0.10	4,196	学校での外部指導者の登用を推進支援する。	学生SATの確保に向けて、教員課程の学生を主として関係教育機関に働きかけ事業を進める。			
2	英語指導助手招致事業	学校教育課	11,128	11,128		0.90	19,686	小中学校での英語等の授業補助を行う英語指導助手を英語圏から招致する。	H24年度から小学校支援向けALTを1名増員し、小学3年4年生外国語活動を希望する小学校(12校)に派遣する。			
3	学校教育主事配置事業	学校教育課	4,068	4,068		0.01	4,163	地域教育の推進、学校及び関係機関への助言などを行うために学校教育主事を配置する。	現行の体制を維持することが望ましい。			
4	奨励プログラム推進事業	学校教育課	5,534	5,534		0.05	6,009	小中学校が総合学習等を実施する上での様々な教育活動を推進する。	各学校が、特色や地域性を活かしながら、今日的な教育課題に取り組めるよう事業を進める。			
5	子どもへの暴力防止プログラム事業	学校教育課	456	456		0.01	551	小学校でのCAPプログラムの実施を推進支援する。	プログラムの成果を得るためには、継続して実施することが必要であり、引き続き実施する。			
6	学力向上推進事業	学校教育課	3,737	3,737		0.01	3,832	小中学校等での学力向上に向けた取組を推進支援する。	習熟度に合わせた指導や補充事業を行うなど、引き続き事業を実施する。			
7	体力・運動能力向上推進事業	学校教育課	-	-		0.01	95	小中学校での体力・運動能力向上に向けた取組を推進支援する。	当面、現行内容を継続する。			
8	小学校スキー学習支援事業	学校教育課	2,069	2,069		0.10	3,020	小学校のスキー学習に必要なバス代に対する交付金の交付事務を処理する。	事業実施の効果は大きく、現行どおり進める。			
②特別支援教育の推進												
9	特別支援教育運営事業	教育支援センター	24,654	24,654		1.25	36,540	特別支援教育推進のため、各学校に人的支援や、学級等運営に係る経費を配分する。	支援を必要とする児童生徒が増えており、人的な支援やシステムの工夫・改善を学校や関係機関等協議しながら検討する。			
③教育環境の整備												
10	生徒指導上の諸問題対策事業	教育支援センター	2,836	2,836		1.25	14,722	いじめや非行行為など児童生徒の問題行動等の対策を行う。	研修等を取り入れるなど、引き続き学校や関係機関等の意見を十分取り入れながら改善に向けて取り組む。			
11	石狩市教職員研修事業	学校教育課	21	21		0.30	2,874	石狩市独自の教職員研修を実施する。	教職員に必要なスキルに対応するとともに、時勢に応じた研修を実施していく。			
12	小中学校教材教具整備事業	学校教育課	17,428	17,428		0.20	19,330	教材・理科教育等設備備品、コンピュータ関連備品、特別支援学級用備品等を購入する。	学習に必要な環境づくりを進めるため、継続的に事業を実施する。			
13	小中学校管理運営事務	総務企画課・学校教育課	281,710	277,671		3.65	316,418	学校公務補及び学校事務生の配置を行う。学校施設の維持管理を行う。	適切な学校管理運営を行うため、継続的に事業を実施する。			
14	小中学校教育用コンピュータ整備事業	学校教育課	43,811	43,811		0.10	44,762	教育用コンピュータを配置する。	児童生徒の学習に必要な環境づくりを進めるため、中長期的な展望に立った事業展開の検討を行う。			
15	教育情報化整備事業	学校教育課	8,134	8,134		0.25	10,511	学校ICT環境整備の検討、購入等を行う。	教育情報化推進検討会議の報告を踏まえ、今後の整備方針を定め事業を実施する。			
16	小中学校校舎等改修事業	総務企画課	27,826	27,826		0.35	31,154	学校施設の改修等を行う。	緊急度の高い施設を優先的に実施するとともに、耐震化工事の終了後、計画的な改修を実施する。			
17	小中学校施設整備事業	総務企画課	697,799	471,070		0.65	703,980	学校施設の整備等を行う。	耐震化工事の終了後、老朽施設大規模改修を中心に計画的な改修を実施する。			
18	スクールバス運行事業	学校教育課	50,981	50,981		0.92	59,729	スクールバスを運行させるために必要な契約・運行調整を行う。	児童生徒を安全に送迎するため、今後も継続的に実施する。			
19	社会科教育等推進事業	学校教育課	3,969	3,969		0.05	4,444	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。				
④いじめなどの問題行動や不登校への対応												
20	スクールカウンセラー設置事業	教育支援センター	2,160	2,160		0.25	4,537	児童生徒や保護者などのカウンセリングを行うカウンセラーを配置する。	関係機関等の意見を十分聞きながら、スクールカウンセラーの勤務日数の増など改善に向けて取り組む。			
21	不登校児童生徒支援事業	教育支援センター	8,176	6,820		1.25	20,062	不登校傾向のある児童生徒を対象とする教育支援教室「ふらっとくらぶ」を運営する。	家庭訪問等の支援方策について、関係機関と協議しながら改善に向けて取り組む。市民団体等との協働を検討していく。			

施策の体系	事業名	担当課	H23決算				事務事業の概要	今後の方向性(1次評価)	優先度			
			事業費		その他 間接経費	従事職員数 (関係課含)			総コスト (人件費含)	高い	極めて 高い	高くない
			うち一般財源									
22	【再掲】生徒指導上の諸問題対策事業	教育支援センター					-					
⑤学校図書館の整備												
23	小・中学校教育推進事業	学校教育課	67,153	67,153		0.70	73,809	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。				
24	【再掲】読書・学習支援事業	市民図書館					-	この事業の評価は施策「生涯学習の推進」に掲載しています。				
⑥幼児教育の充実												
25	【再掲】いしかり子ども総合支援会議事業	こども家庭課					-	この事業の評価は施策「子育て支援の充実」に掲載しています。				
26	【再掲】いしかり子育てネット事業	こども家庭課					-	この事業の評価は施策「子育て支援の充実」に掲載しています。				
⑦その他												
27	教育振興会活動支援事業	学校教育課	4,953	4,953		0.01	5,048	教育振興会拠出金の交付事務を処理する。	教育活動の充実・活性化を図るため、今後も継続的な支援を行う。			
28	学校給食事業	学校給食センター	408,076	133,740		1.70	424,241	小中学校に学校給食を提供し、給食費を徴収する。	PFIも含めた手法の検討を行う。			
29	給食センター維持管理事業	学校給食センター	26,990	26,990		0.65	33,171	給食センター施設の維持管理を行う。	施設の建替え又は民間委託(PFI)等を含め、手法の検討を行う。			
30	奨学金支給事業	学校教育課	3,481	-		0.20	5,383	経済的理由により修学困難な家庭の生徒・学生に奨学金を支給する。	当面は、現行どおり進める。			
31	中学校体育連盟活動支援事業	学校教育課	1,555	1,555		0.01	1,650	中学校体育連盟拠出金の交付事務を処理する。	中学校におけるスポーツの振興・競技力の向上を図るため、今後も継続的な支援を行う。			
32	中学生文化関係コンクール等参加活動支援事業	学校教育課	-	-		0.01	95	中学生文化関係コンクール等参加費補助金の交付事務を処理する。	中学校における文化活動の振興を図るため、今後も継続的な支援を行う。			
33	学校保健管理事業	学校教育課	19,269	17,545		0.45	23,548	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。				
34	教育研修センター組合事務	総務企画課	4,649	4,649		0.05	5,124					
35	小中学校等購入費支払事務	総務企画課	3,206	3,206		0.03	3,491					
36	就学管理事務	学校教育課	163	163		0.38	3,776					
37	調査報告取りまとめ事務	学校教育課				0.80	7,607					
38	教職員人事管理事務	学校教育課				1.60	15,214					
39	就学援助事業	学校教育課	58,303	57,736		1.00	67,812					
40	要保護・準要保護児童生徒給食費支給事業	学校給食センター	70,470	70,470		0.45	74,749					
							-					
							-					
							-					
							-					
							-					
							-					
合計			1,868,010	1,355,778	-	19.70	2,055,333					

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 1	事業名	外部指導者活用事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	外部指導者活用事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	外部指導者活用事業交付金要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	各小中学校で児童生徒の学力向上や体力・運動能力向上などに向け、外部指導者等の活用により、授業や補充的学習、部活動などの場面において、一人ひとりに応じた、きめ細かな指導ができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
スクール・アシスタント・ティーチャー(通称:SAT~学生・地域のボランティア指導者)、学力向上サポーター(教員免許を持つ外部指導者)、部活動外部指導者を活用する学校の活用経費の一部を交付する。(外部指導者活用事業交付金)			
④事業実施の背景・個別計画等			
石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円			3,510	3,245	4,392
小計(A)	千円	0	3,510	3,245	4,392	
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.40	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	0	3,804	951	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	0	3,804	951	
総コスト(A)+(B)		千円	0	7,314	4,196	
事業費の用途等	○学力向上対策分					
	学生SAT・地域SAT活用費(謝金)		373千円			
	学力向上サポーター活用費(謝金)		1,962千円			
	上記活用に係る事務費		48千円			
	○体力・運動能力向上対策分					
	スポーツ支援SAT活用費(謝金)		665千円			
部活動外部指導者活用費(謝金)		120千円				
上記に関わるスポーツ傷害保険料		77千円				

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	SAT配置人数	人	目標値	-	未設定	未設定
実績値				-	92	154	
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
学力向上サポーター配置人数		人	目標値	-	3	4	3
			実績値	-	4	4	
			目標:予算措置数	達成率	#VALUE!	133.3	100.0
部活動外部指導者配置人数	人	目標値	-	5	5	5	
		実績値	-	6	6		
		目標:予算措置数	達成率	#VALUE!	120.0	120.0	

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	成果指標	SAT活動日数	日	目標値	-	未設定	590
実績値				-	468	636	
目標:予算措置数				達成率	#VALUE!	#VALUE!	107.8
学力向上サポーターの延べ活動時間数		時間	目標値	-	1,260	1,440	1,244
			実績値	-	1,182	981	
			目標:予算措置数	達成率	#VALUE!	93.8	68.1
部活動外部指導者活動日数	日	目標値	-	未設定	未設定	未設定	
		実績値	-	392	494		
		目標:予算措置数	達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い			事業の実施方法		● 効果的 中位 改善の余地あり	行政の関与
現状の課題		学生SATの確保が不安定である。今後、学力向上サポーターの拡大も検討が必要。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 学生SATの確保に向けて、教員課程の学生を主として関係教育機関に働きかけ事業を進める。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	多様なニーズに即応できるよう事業の拡充を検討したい。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)								
市民意見等に対する回答		担当部長 反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い			事業の実施方法		● 効果的 中位 改善の余地あり	優先性
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 2	事業名	英語指導助手招致事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成24年度担当	所管	生涯学習部総務企画課/学校教育課	課長	上田 均/蛸谷学俊	担当	高石 康弘	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 2目)			事業名	英語指導助手招致事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 3 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市立小中学校	→	対象数 21校
	市立小学校5・6年の児童及び中学校の生徒	→	対象数 2,852人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	英語教育の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市立中学校に英語指導助手(ALT)を派遣し、英語教員とともに授業を行う。 ・英語指導助手の採用については、(財)自治体国際化協会の斡旋を受け決定する。 		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン「基本計画」		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
小学校から、配置時間増に関する要望意見がある。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
本格実施された小学校(5・6年)の外国語活動における支援として、8月から専用のALTを1名増員し、授業支援を実施した。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	8,452	7,862	11,128	16,594
	小計(A)	千円	8,452	7,862	11,128	16,594
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.20	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(両支所生涯学習課)	人	0.70	0.60	0.40	
	従事正職員の人件費	千円	7,050	7,607	8,559	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	7,050	7,607	8,559	
総コスト(A)+(B)		千円	15,502	15,469	19,687	

事業費の用途等	英語指導助手3名の人件費及び物件費(旅費、傷害保険料等) 11,128千円
---------	---------------------------------------

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	英語指導助手派遣中学校数	校	目標値	8	8	8
実績値				8	8	8	
目標:事業計画(全中学校数)				達成率	100.0	100.0	100.0
英語指導助手派遣小学校数		校	目標値			13	13
			実績値			13	
			目標:事業計画(全小学校数)	達成率			100.0
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	英語指導助手を活用した授業日数(中学校)	日	目標値	265	265	265	265
実績値			283	262	259		
目標:事業計画			達成率	106.8	98.9	97.7	
小学校外国語活動(5・6年生)のうち英語指導助手を活用した授業日数	日	目標値	95	95	215	395	
		実績値	95	89	205		
		目標:事業計画	達成率	100.0	93.7	95.3	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている ● 中位 ● 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い ● 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい ● 中位 ● 小さい
	施策への貢献度	● 高い ● 中位 ● 低い		事業の実施方法	● 効果的 ● 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき ● 民間等でも実施可能 ● 民間等が実施すべき
現状の課題		地域性や校種を考慮しながら必要最低限の人員を有効的に活用するための工夫が必要。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 H24年度から小学校支援向けALTを1名増員し、小学3年4年生外国語活動を希望する小学校(12校)に派遣する。小学校1・2年生に拡大するタイミングにおいては、ALT増員を検討する必要がある。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	助手の活用手法において、現場教員との連携を深め、さらに効率的な事業展開を図る。特に1名増となることから、その配置・活用について実践をとおして改善を図る。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている ● 中位 ● 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い ● 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい ● 中位 ● 小さい
	施策への貢献度	● 高い ● 中位 ● 低い		事業の実施方法	● 効果的 ● 中位 ● 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 3	事業名	学校教育主事配置事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいききと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	学校教育主事配置費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	学校教育主事の職務に関する要綱										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	各小中学校が学校運営や授業の内容等を改善したり、市が進める教育施策などを実践しやすくする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
専門的知識を有する学校教育主事(嘱託職員)を配置し下記を行う。 ・新しい教育課題などを調査し、必要な情報提供や助言を行う。 ・学力の状況を分析し、学力向上に向けた各学校の取組に助言・指導を行う。 ・市教委が進める様々な取組を学校が実践しやすいよう助言・指導を行う。 ・教育長学校訪問等に随行し、実態把握や授業改善等について助言を行う。			
④事業実施の背景・個別計画等			
学校教育主事は、地域教育推進室の設置に伴い位置づけられた。(平成13年4月の教育委員会事務局組織再編による。)			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円			1,976	3,989	4,068
小計(A)	千円		1,976	3,989	4,068	4,126
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.15	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	881	1,426	95	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	881	1,426	95	
総コスト(A)+(B)		千円	2,857	5,415	4,163	

事業費の用途等	学校教育主事報酬 3,960千円 通勤手当 108千円
----------------	--------------------------------

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	学校訪問実施学校数	校	目標値		未設定	未設定	未設定
実績値					11	21		
達成率					#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	成果指標	年間学校訪問延べ回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				40	61	45		
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		学校教育を取り巻く状況が変化しており、教育課題も増えている。よりきめ細かい学校への支援や指導が求められる。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 現行の体制を維持することが望ましい。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	現状の非常勤体制が果たしているのか、現職教員の派遣も含め、この職のあり方について検証を行う必要がある。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 4	事業名	奨励プログラム推進事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	奨励プログラム推進事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	学校奨励プログラム等推進事業交付金要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	各小中学校が総合的な学習の時間などにおいて、市が奨励する「環境教育」「人権教育」「平和教育」「国際理解教育」などの今日的な教育課題に関する教育活動を積極的に実施できるよう支援する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
【奨励プログラム】 ●教育環境 ●人権教育 ●平和教育 ●国際理解教育 上記の奨励プログラムのほか、学校独自の特色ある教育活動(キャリア教育、連携教育、食育、学校間交流など)に取り組む学校の活動経費の一部を交付する。(学校奨励プログラム等推進事業交付金)			
④事業実施の背景・個別計画等			
石狩市教育プラン			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		5,448	5,534	5,928
	小計(A)	千円	0	5,448	5,534	5,928
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.40	0.05	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	0	3,804	475	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	0	3,804	475	
総コスト(A)+(B)		千円	0	9,252	6,009	

事業費の用途等	環境教育に関する取組	678千円
	人権教育に関する取組	254千円
	平和教育に関する取組	221千円
	国際理解教育に関する取組	531千円
	その他特色ある教育活動に関する取組 (連携教育、キャリア教育、食育、学校間交流など)	3,850千円

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	交付金交付学校数	校	目標値	-	21	21	21
実績値				-	21	21		
達成率				#VALUE!	100.0	100.0		
目標: 予算措置数(全小中学校)				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	成果指標	奨励4項目のいずれかを実施した学校数	校	目標値	-	未設定	未設定	未設定
実績値				-	19	20		
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
上記を体験した延べ児童生徒数		人		目標値	-	未設定	未設定	未設定
				実績値	-	6,666	8,027	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
				目標値				
				実績値				
				達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		従来学校が培ってきた特色ある教育とバランスを取りながら、奨励プログラムを実施する必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 各学校が、特色や地域性を活かしながら、今日的な教育課題に取り組めるよう事業を進める。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	現行で推移をみる						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 5	事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小学校	→	対象数 13校
	市内児童(3年生)	→	対象数 536人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	市内の児童に自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から自分を守るためのすべを身につけるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
各小学校で、3年生を対象に「北海道CAPをすすめる会」が行う「子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム(CAPプログラム)」を活用できるよう市が経費を負担する。			
④事業実施の背景・個別計画等			
石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		522	456	460
	小計(A)	千円	0	522	456	460
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.15	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	0	1,426	95	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	0	1,426	95	
総コスト(A)+(B)		千円	0	1,948	551	

事業費の用途等	子どもプログラムにかかる経費 246千円 大人プログラムにかかる経費 210千円 (保護者・教職員)
---------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	実施学校数	校	目標値	-	13	13	13
実績値				-	13	13		
達成率				#VALUE!	100.0	100.0		
プログラム延べ実施回数		回	目標値	-	未設定	52	53	
			実績値	-	63	54		
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	103.8		
			目標値					
			実績値					
			達成率					
成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	プログラムを受けた延べ児童数	人	目標値	-	未設定	564	609	
実績値			-	817	562			
達成率			#VALUE!	#VALUE!	99.6			
					目標値			
					実績値			
					達成率			
			目標値					
			実績値					
			達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		事業の効果を得るためには継続的な実施が必要である。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 プログラムの成果を得るためには、継続して実施することが必要であり、引き続き実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	当面現状どおりとし、各学年が均等にプログラム経験を有するようにする。その後、小学校高学年、あるいは中学生でのセカンドプログラムの実施を検討していきたい。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 6	事業名	学力向上推進事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	学力向上推進事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	エキスパートサポーターの職務に関する要綱										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)			
	市内小中学校	→	対象数	21 校
	児童生徒	→	対象数	5,182 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)			→ 成果指標
	各小中学校が学力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。 児童生徒の学力・学習意欲が向上するようにする。			
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)			→ 活動指標
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、CRT標準学力検査の分析と活用を図る。 ・よりきめ細やかな学習支援を行うため、エキスパートサポーターを配置、モデル事業を双葉小で実施する。 ・全校を対象に、学力向上アクションプランを策定。(市の学力向上対策行動計画) ・学力向上対策拡大チームを設置し学力向上対策の研究と検討を行う。(対象:全校) ・その他学力向上に向けた学校支援と研究等。(チャレンジテスト、道外部指導者活用事業の実施検討) 				
④事業実施の背景・個別計画等				
石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」				
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等				
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果				

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業の コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		3,665	3,737	3,737
	小計(A)	千円	0	3,665	3,737	3,737	
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.50	0.01	特定財源名及び補助率・充当率	
	正職員()	人					
	従事正職員の人件費	千円	0	4,755	95		
	その他間接経費	千円					
	小計(B)	千円	0	4,755	95		
総コスト(A)+(B)		千円	0	8,420	3,832		

事業費の用途等	エキスパートサポーター報酬 3,737千円
----------------	-----------------------

指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
活動指標	エキスパートサポーターの延べ活動授業時数	時間	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	1,003	1,051	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学力向上対策チームの開催回数	回	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	3	4	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
成果指標	国語の授業の内容がよく分かる・どちらかといえ ばわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	69	74	68	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	算数・数学の授業の内容がよく分かる・どちらかとい えばわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	67	67	60	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	<input type="radio"/> 上がっている <input checked="" type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 上がっていない	効率性	費用対効果	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い	妥当性	事業実施の意義	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 小さい
	施策への貢献度	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い		事業の実施方法	<input checked="" type="radio"/> 効果的 <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 改善の余地あり		行政の関与	<input checked="" type="radio"/> 市が実施すべき <input type="radio"/> 民間等でも実施可能 <input type="radio"/> 民間等が実施すべき
現状の課題		エキスパートサポーターは、モデル校に配置されているため、効果を検証するため継続実施が必要。補充授業を行うなど、きめこまやかな指導を行う必要がある。						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 手法改善 <input type="radio"/> 縮小・統合 <input checked="" type="radio"/> 継続・維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 習熟度に合わせた指導や補充事業を行うなど、引き続き事業を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	2名スタッフの効率性を高めるため、H23年度では学年別担当あるいは教科別担当を取り入れて試行を行っており、今年度の結果を踏まえ、さらに修正するか判断する。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答	<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考							
	有効性	期待する成果	<input type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 上がっていない	効率性	費用対効果	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い	妥当性	事業実施の意義
施策への貢献度		<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い	事業の実施方法		<input type="radio"/> 効果的 <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 改善の余地あり	優先性		施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 手法改善 <input type="radio"/> 縮小・統合 <input type="radio"/> 継続・維持 <input type="radio"/> 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 7	事業名	体力・運動能力向上推進事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	地域教育推進事務費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	児童生徒	→	対象数 5,182人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	各小中学校が体力・運動能力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。児童生徒の体力・運動能力が向上するとともに、運動習慣が定着するようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、児童生徒の状況を把握する。 ・各小中学校での取組を推進するとともに、スポーツまつりなどの参加を働きかける。 ・市のスポーツソフトボールを小中学校授業などで取り組めるよう支援するとともに、Tボールなど遊びを通した体力向上策を試験的に行う。(ソフトボール協会から指導者を派遣) 			
④事業実施の背景・個別計画等			
全国的に児童生徒の体力運動能力が低下しているといわれる中、平成22年度に策定した教育プランの重点施策のひとつとして体力運動能力向上の推進を位置づけている。			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
事業費	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		100		
	小計(A)	千円	0	100	0	0
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.25	0.01
人件費等	正職員()	人				
人件費等	従事正職員の人件費	千円	0	2,377	95	
人件費等	その他間接経費	千円				
人件費等	小計(B)	千円	0	2,377	95	
人件費等	総コスト(A)+(B)	千円	0	2,477	95	

事業費の用途等	
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	体力・運動能力、運動習慣等調査実施児童生徒数(小5児童及び中2生徒)	人	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				1,069	1,043	1,139	
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
ソフトボール指導者派遣延べ人数		人	目標値	-	未設定	未設定	未設定
			実績値	-	39	39	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点(小5、男子・女子の平均値) 目標値:教育プラン	T得点	目標値	未設定	未設定	50	50
実績値			47	46.8	47.3		
達成率			#VALUE!	#VALUE!	94.6		
体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点(中2、男子・女子の平均値) 目標値:教育プラン		T得点	目標値	未設定	未設定	50	50
			実績値	47	44.6	45.9	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	91.8	
	チーム	目標値					
実績値							
達成率							

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている ● 中位 ● 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い ● 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい ● 中位 ● 小さい
	施策への貢献度	● 高い ● 中位 ● 低い			● 効果的 ● 中位 ● 改善の余地あり			● 市が実施すべき ● 民間等でも実施可能 ● 民間等が実施すべき
現状の課題		学校の授業や行事、学校単位でのスポーツイベントの参加は欠かせないが、事業時数などの問題から限界があり、家庭との連携が必要。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 当面、現行内容を継続する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	引き続き、現行通り実施していく						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)								
市民意見等に対する回答		担当部長 反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている ● 中位 ● 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い ● 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい ● 中位 ● 小さい
	施策への貢献度	● 高い ● 中位 ● 低い			● 効果的 ● 中位 ● 改善の余地あり			● 優先性 ● 施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 8	事業名	小学校スキー学習支援事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実								
平成24年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 2項 2目)			事業名	小学校スキー学習交付金					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 10 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小学校が実施するスキー学習に参加する児童	→	対象数 2,173 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	保護者の負担軽減を図り、児童がスキー学習に参加しやすくする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
スキー学習を実施する小学校に対し、バス借上料(1台58,000円を限度)を助成する。			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業の コスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	2,153	2,067	2,069	2,320	
	小計(A)	千円	2,153	2,067	2,069	2,320	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.10	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	881	951	951	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	881	951	951		
総コスト(A)+(B)		千円	3,034	3,018	3,020		

事業費の用途等	【交付金】 2,069千円 スキー場への送迎時に使用する民間バス借上料分(1台あたり58,000円上限)を助成 申請者は、スキー学習を行う小学校長
---------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	実施学校数	校	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				12	12	12		
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	成果指標	参加児童数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				2,175	2,212	2,173		
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		特になし						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 事業実施の効果は大きく、現行どおり進める。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	引き続き、現行通り実施していく						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 9	事業名	特別支援教育運営事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	2	特別支援教育の推進						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	森 朋代	担当	森 真弓	電話	76-6798	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	山谷 睦子			
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育支援センター事業費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
根拠法令、条例等	学校教育法								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者	→	対象数 不詳
	市内小中学校の教職員	→	対象数 21校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者への相談の充実を図る。対応する教職員への支援の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターの補助等を行う地域コーディネーター(SENCO)及び学級担任の補助を行う特別支援教育支援員を学校に配置する。 ・特別支援教育コーディネーターが有効に支援を行えるように連携を密にする。 ・就学カンファレンスチーム会議(医師、臨床発達心理士、特別支援学級担任等で構成)を開催し、支援の必要な児童生徒に関する検討・相談を行う。 		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成19年度より特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、児童生徒等の支援をさらに充実していくこととなった。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
特別支援教育支援員を11名から21名に増員し、小学校1年生を中心に配置したことによって、支援を必要とする児童が安心して学校生活を送ることができた。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	20,969	19,719	24,654	25,354
	小計(A)	千円	20,969	19,719	24,654	25,354
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.30	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	11,457	11,886	11,886	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	11,457	11,886	11,886	
総コスト(A)+(B)		千円	32,426	31,605	36,540	

事業費の用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター報酬・通勤手当(5名) 9,115千円 ・特別支援教育支援員謝金(21名) 12,600千円 ・検査器具、特別支援学級教材用備品 765千円 ・特別支援学級運営消耗品等 13千円 ・その他経費 761千円
---------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	地域コーディネーターの配置人数	人	目標値	7	6	6
実績値				7	5	5	
目標:予算措置数				達成率	100.0	83.3	83.3
特別支援教育支援員の学校配置数		人	目標値	22	21	21	25
			実績値	8	11	21	
			目標:予算措置数	達成率	36.4	52.4	100.0
小中学校における特別支援学級の設置校数	校	目標値	22	21	21	21	
		実績値	13	16	17		
		目標:事業計画(全小中学校)	達成率	59.1	76.2	81.0	

成果指標	指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	成果指標	小中学校における特別支援学級在籍児童生徒数	人	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				67	79	101	
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		小中学校等への理解・啓発の拡充を図るなど、支援の内容・方法の工夫が必要である。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 支援を必要とする児童生徒が増えており、引き続き人的な支援やシステムの工夫・改善を学校や関係機関等協議しながら検討する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	関係機関との連携、さらには市民団体等の協力を得るなど、工夫改善を図る。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 ● 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 10	事業名	生徒指導上の諸問題対策事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち				5	心豊かに学びいきいきと活動するまち			
	策	2	学校教育の充実				2	学校教育の充実			
	施 策 (小)	3	教育環境の整備				4	いじめなどの問題や不登校への対応			
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-6798	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人	担当	川畑 昌博				
予算科目	会計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)				事業名	教育支援センター事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	北海道青少年健全育成条例										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 16 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒・保護者及び教員等	→	対象数 7,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	いじめや非行行為などの改善及び青少年の有害環境の整備や防犯対策などにより子どもたちの健全育成を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒のいじめや非行行為、問題行動などに対し、保護者や学校からの相談受理及び警察や児童相談所、その他関係機関と連携した支援を実施する。 ・いじめの早期発見、早期対応のため「いじめ通報ホットライン」を設置する。 ・北海道青少年健全育成条例に基づき市内コンビニエンスストア等に有害図書等の立ち入り調査を行う。 ・子どもたちを地域で見守る「スクールガード」や「声かけ運動」の推進する。 			
④事業実施の背景・個別計画等			
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の不良化防止を目的に道では北海道青少年健全育成条例を制定し、環境の整備などを行っている。 ・子どもたちが被害者となる殺傷事件やいじめの問題などが社会問題となり、それらへの対応が強化されている。 			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
いじめに関して、市内全ての小中学校において児童生徒を対象としたアンケートを実施し、いじめの実態把握を強化した。			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
		事業の コスト	事業費	国庫支出金	千円		
道支出金	千円			1,644	141		
地方債	千円						
その他	千円						
一般財源	千円			3,656	2,881	2,836	3,852
小計(A)			千円	5,300	3,022	2,836	3,852
人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	1.25	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()		人				
	従事正職員の人件費		千円	11,016	11,886	11,886	
	その他間接経費		千円				
	小計(B)	千円	11,016	11,886	11,886		
総コスト(A)+(B)		千円	16,316	14,908	14,722		
事業費の 用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 1699千円 (自立支援員・少年指導巡回謝金、相談員報酬) ・施設維持費 551千円 (除雪作業、修繕費、警備委託、火災保険 など) ・光熱水費(暖房用燃料費含) 392千円 ・車輛維持費(ガソリン代含) 105千円 ・通信費 57千円 (電話代、ADSL など) ・その他経費 32千円 						

指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24	
活動指標	青少年健全育成条例に基づく立入調査回数	回	目標値	2	2	2	2	
			実績値	2	2	2		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
	小中学校を対象としたいじめ実態調査実施回数	回	目標値	2	2	4	4	
			実績値	2	2	4		
			達成率	100.0	100.0	100.0		
				目標値				
				実績値				
			達成率					
指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24	
成果指標	青少年健全育成条例違反件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
			実績値	0	0	0		
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
	いじめの認知件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
			実績値	111	77	44		
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
			達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		・学校だけでは対応しきれない諸問題が発生した時の迅速な対応が必要。 ・いじめの未然防止に向けた、児童生徒が主体となる取り組みの工夫が必要。						
今後の方向性	事業内容	<input type="radio"/> 拡充 ● 手法改善 <input type="radio"/> 縮小・統合 <input type="radio"/> 継続・維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 複雑多岐にわたる諸問題の迅速な対応を図るため、研修等を取り入れるなど、引き続き学校や関係機関等の意見を十分取り入れながら改善に向けて取り組む。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	成果がより見えるような取り組みにシフトするよう、常に改善の視点をもって取り組む。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 手法改善 <input type="radio"/> 縮小・統合 <input type="radio"/> 継続・維持 <input type="radio"/> 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 11	事業名	石狩市教職員研修事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	佐々木 宏嘉	電話	72-3171	内線	413	
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	佐々木 宏嘉					
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	その他義務教育振興事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 15 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校の教職員	→	対象数 410 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	市の教育目標の達成や今日的な教育課題を解決するため、専門的知識や実践的な指導力など、教職員の資質が向上するようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	夏季休業期間等を活用し、「地域理解」「今日的教育課題」「教育以外の一般教養」をテーマとした市独自の教職員研修を実施する。		
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
夏季休業期間中の研修実施に加え、冬季休業期間中においても中堅教諭を中心に研修を実施した。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	31	31	21	100
	小計(A)	千円	31	31	21	100
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.50	0.30	0.30	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	4,407	2,853	2,853	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	4,407	2,853	2,853	
総コスト(A)+(B)		千円	4,438	2,884	2,874	

事業費の用途等	講師謝金及び費用弁償 21千円
---------	-----------------

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	実施講座数	目標:事業計画	個	目標値	10	10	10
実績値				8	10	11	
達成率				80.0	100.0	110.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	延べ参加人数	目標:事業計画	人	目標値	500	380	475
実績値				307	365	419	
達成率				61.4	96.1	88.2	
教職員全体に占める受講者の割合	目標:事業計画	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	65	71	78	
			達成率	81.3	88.8	97.5	
受講した教職員のうち、有意義だったと感じた人の割合(アンケート調査)	目標:事業計画	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	89	95	94	
			達成率	111.3	118.8	117.5	

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		教職員に求められるスキルが多様化しており、限られた時間における効率的な研修が必要。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 教職員に必要なスキルに対応するとともに、時勢に応じた研修を実施していく。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	内容は毎年、工夫・検証が必要であり、ルーチン化しておざなりになればこの事業の成果は大きく損なわれるので、十分留意して取り組みたい。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 12	事業名	小中学校教材教具整備事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	3	教育環境の整備							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 2.3項 2目)		事業名	小学校教材教具整備事業費、中学校教材教具整備事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	充実した学習指導を受けられるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	教材・理科教育等設備備品、コンピュータ関連備品等を購入する。		
④事業実施の背景・個別計画等			
昭和29年より理科教育振興法が施行され国の補助が行われたことによる。			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円	5,500	487	0	900
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	19,563	18,184	17,428	16,710
	小計(A)	千円	25,063	18,671	17,428	17,610
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	1,763	1,902	1,902	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	1,763	1,902	1,902	
総コスト(A)+(B)		千円	26,826	20,573	19,330	

事業費の用途等	【直接事業費】 コンピュータソフト:2,487千円、教材教具備品:14,941千円
---------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	小学校教材備品等購入費	千円	目標値	15,600	9,520	9,520
実績値				14,319	8,676	8,213	
目標: 予算措置額				達成率	91.8	91.1	86.3
中学校教材備品等購入費		千円	目標値	12,560	11,092	11,760	8,260
			実績値	10,744	9,995	9,215	
			目標: 予算措置額	達成率	85.5	90.1	78.4
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	成果指標	児童1人当たりの教材購入費	円	目標値	4,622	2,873	2,805
実績値				4,243	2,556	2,383	
目標: 予算措置額				達成率	91.8	89.0	85.0
生徒1人当たりの教材購入費		円	目標値	7,362	6,666	6,954	4,761
			実績値	6,298	5,911	5,311	
			目標: 予算措置額	達成率	85.5	88.7	76.4
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		教育環境を維持するため、教材の計画的な更新が必要である。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 引き続き、学習に必要な環境づくりを進めるため、継続的に事業を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	引き続き、児童生徒の学習に必要な環境づくりを進めるため、中長期的な展望に立った継続的な事業展開を行う。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 13	事業名	小中学校管理運営事務								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成24年度担当	所管	生涯学習部総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美/吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402	
前年度担当	所管	生涯学習部総務企画課/学校教育課	課長	上田 均/池田 幸夫	担当	田口 昇/吉田 学					
予算科目	会計	一般会計 (10款 2.3項 1目)			事業名	小学校管理運営費・中学校管理運営費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	各小学校	→	対象数 13校
	各中学校	→	対象数 8校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	学校施設等の使用及び学校運営が円滑に行われるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	学校事務生及び学校公務補を配置する。 学校施設・設備の維持管理を行う。 事務機器、備品調達等を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	4,890	4,470	4,039	4,186
	一般財源	千円	281,880	276,136	277,671	290,396
	小計(A)	千円	286,770	280,606	281,710	294,582
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	2.20	2.30	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(学校教育課・両支所生涯学習課)	人	1.80	1.60	3.45	教員住宅貸付料
	従事正職員の人件費	千円	35,252	37,085	34,708	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	35,252	37,085	34,708	
総コスト(A)+(B)		千円	322,022	317,691	316,418	

事業費の用途等	【直接事業費】	
	学校事務生の配置	12,529 千円
	学校公務補の配置	34,937 千円
	学校施設維持管理等経費	195,604 千円
	学校施設修繕費	23,262 千円
	事務機器・備品経費	15,378 千円

指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
活動指標	公務補・事務生配置学校数	校	目標値	22	21	21	21
			実績値	22	21	21	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	学校施設の修繕を行った件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	253	230	196	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
成果指標	公務補・事務生配置数	人	目標値	44	42	44	44
			実績値	44	42	44	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	施設修繕を行った校数	校	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	21	20	20	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
	● 上がっていない	● 低い		● 効果的	● 小さい			
	● 高い	● 中位		● 中位	● 市が実施すべき			
施策への貢献度	● 中位	事業の実施方法	● 効果的	行政の関与	● 民間等でも実施可能			
	● 低い		● 改善の余地あり		● 民間等が実施すべき			
現状の課題		老朽化している管理備品が多いため、計画的な更新が課題となっている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 適切な学校管理運営を行うため、継続的に事業を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	事務事業見直しを基本に、継続的な事業を実施する。						

事業に対する市民意見等							

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答			反映					
			一部反映					
			不採用					
			実施済み					
			参考					
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
	● 上がっていない	● 低い		● 効果的	● 小さい			
	● 高い	● 中位		● 中位	● 市が実施すべき			
施策への貢献度	● 中位	事業の実施方法	● 効果的	行政の関与	● 民間等でも実施可能			
	● 低い		● 改善の余地あり		● 民間等が実施すべき			
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 14	事業名	小中学校教育用コンピュータ整備事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432	
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学					
予算科目	会計	一般会計 (10款 2.3項 1目)			事業名	小学校教育用コンピュータ整備事業費、中学校教育用コンピュータ整備事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 4 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	市内児童生徒	→	対象数 5,182人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	コンピュータを使った授業の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	<p>各小中学校のパソコン教室に児童生徒1人につき1台のパソコンを整備(最大40台)する。 その他、指導者用パソコン、カラープリンタ、液晶プロジェクタを整備している。 現在、契約期間5年間のリース契約としており、別途保守契約も締結している。</p>		
④事業実施の背景・個別計画等			
平成2年に全国の公立小学校及び中学校に教育用コンピュータを整備するための国庫補助制度が創設された。平成6年度から交付税措置され、学校の情報化への対応が求められている。			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円	43,944	48,995	43,811	45,224	
小計(A)	千円	43,944	48,995	43,811	45,224	
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.10	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	1,763	1,902	951	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	1,763	1,902	951	
総コスト(A)+(B)	千円	45,707	50,897	44,762		

事業費の用途等	<p>【直接事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校(13校)教育用コンピュータリース料:28,627千円 ・中学校(8校)教育用コンピュータリース料:14,682千円 ・保守委託料:502千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	小学校コンピュータ更新実施校 目標:更新計画	校	目標値	1	1	0
実績値				1	1	0	
達成率				100.0	100.0	#DIV/0!	
中学校コンピュータ更新実施校 目標:更新計画		校	目標値	1	1	1	3
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	コンピュータ1台あたりの児童・生徒数 目標:文部科学省の「IT新改革戦略」に掲げられた教育の情報化の目標値	人	目標値	3.6	3.6	3.6	3.6	
			実績値	7.8	7.8	7.8		
			達成率	216.7	216.7	216.7		
				目標値				
				実績値				
			達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	<input type="radio"/> 上がっている <input checked="" type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 上がっていない	効率性	費用対効果	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い	妥当性	事業実施の意義	<input checked="" type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 小さい
	施策への貢献度	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い		事業の実施方法	<input checked="" type="radio"/> 効果的 <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 改善の余地あり		行政の関与	<input checked="" type="radio"/> 市が実施すべき <input type="radio"/> 民間等でも実施可能 <input type="radio"/> 民間等が実施すべき
現状の課題		国におけるコンピュータ1台あたりの児童・生徒数の目標数値を大きく下回っている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 児童生徒の学習に必要な環境づくりを進めるため、中長期的な展望に立った事業展開の検討を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	タブレット型PCなど、機器整備については常に新しいものを検討する必要がある。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	<input type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 上がっていない	効率性	費用対効果	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い	妥当性	事業実施の意義	<input type="radio"/> 大きい <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 小さい
	施策への貢献度	<input type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 低い		事業の実施方法	<input type="radio"/> 効果的 <input type="radio"/> 中位 <input type="radio"/> 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号 27 - 15		事業名 教育情報化整備事業	
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち
	策	2	学校教育の充実
	策(小)	3	教育環境の整備
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長 蛭谷 学俊 担当 吉田 学 電話 72-3171 内線 432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長 池田 幸夫 担当 吉田 学
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目) 事業名 教育情報化整備事業費	
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他		
根拠法令、条例等			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 21 年度 ~ 未定 年度		

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21校
	市内小中学校教職員	→	対象数 410人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	学校ICT環境の整備を図る。		→ 成果指標
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
<ul style="list-style-type: none"> ・校務用及び教育用パソコンを整備する。 ・書画カメラを整備する。 ・学校ICT環境(校内LAN等)の保守管理を行う。 		→ 活動指標	
④事業実施の背景・個別計画等			
H18年度に「IT新改革戦略」が決定、教育の情報化は国の重要な目標に位置付け。 H20年度に「教育振興基本計画」が決定、国において教育情報化の達成目標が明確化。 H21年度に国の「経済危機対策」関連事業を活用し、学校ICT環境の整備充実を図った。			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果			
平成23年度からの3年間で、小中学校の全クラスに書画カメラを整備することとし、平成23年度については、小学校1・2年、中学校1年の全クラスに整備。 市内小中学校におけるICT活用に関する総合的な推進方策について検討を行うため、教育情報化推進検討委員会を設置。			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	170,574			
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	8,643	17,685	8,134	7,416	
	小計(A)	千円	179,217	17,685	8,134	7,416	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,763	1,902	2,377	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	1,763	1,902	2,377		
総コスト(A)+(B)		千円	180,980	19,587	10,511		

事業費の用途等	教育情報化推進検討委員会旅費 87千円 情報化システム保守 1,460千円 校務用パソコン購入 3,051千円 書画カメラ購入 3,536千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	校務用パソコン整備台数	台	目標値	331	7	16
実績値				331	9	42	
達成率				100.0	128.6	262.5	
目標: 予算措置数			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	校務用コンピュータの整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	普通教室の校内LAN整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	95.0	100.0	100.0	
達成率							
目標: 100%		目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		書画カメラなどの教育指導におけるICT機器の整備を進める必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 教育情報化推進検討会議の報告を踏まえ、今後の整備方針を定め事業を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	校務の情報化推進による教員の負担軽減をさらに推し進める。授業・学習での情報化推進により、授業での習熟度を高める、自己学習への意欲を高める。このような点を中心に改善・拡充を図りたい。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		中位			中位			中位
		上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度	● 高い	事業の実施方法	● 効果的	優先性	施策内における優先度	● 高い	
		中位		中位			中位	
低い	改善の余地あり	低い						
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 16	事業名	小中学校校舎等改修事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	3	教育環境の整備							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美	電話	72-3169	内線	403
前年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	田口 昇				
予算科目	会計	一般会計 (10款 2・3項 1目)			事業名	小学校校舎等改修事業費、中学校校舎等改修事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	消防法、浄化槽法、電気事業法、建築基準法									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 不詳年度 ~ 未定年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	各小学校	→	対象数 13校
	各中学校	→	対象数 8校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	学校施設の安全・快適性を確保する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
<ul style="list-style-type: none"> 適切な維持管理に努め、維持管理上のトラブルを解消する。(校舎等改修事業を補完する。) 学校から提出される教育予算要望書に基づき、現地調査を行う。 緊急性の高いものから順次、改修を行う。 			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
毎年、石狩市教育予算要望委員会から要望等を受けている。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円		3,244	5,763	27,826	22,000
小計(A)	千円		3,244	5,763	27,826	22,000
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.35	0.35	0.35	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	3,085	3,328	3,328	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	3,085	3,328	3,328	
	総コスト(A)+(B)	千円	6,329	9,091	31,154	

事業費の用途等	玄関オートロック工事	小学校	948千円
		中学校	978千円
	電波障害撤去工事	小学校	373千円
		中学校	495千円
	プール改修(花川南小)		9,345千円
	浜益中移転関連工事		15,687千円

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	予算要望委員会等における学校施設の巡回点検校数 目標:全小中学校	校	目標値	22	21	21	21
実績値			22	21	21		
達成率			100.0	100.0	100.0		
	校	目標値					
		実績値					
		達成率					
	校	目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	改修事業実施学校数 目標:予算措置数	校	目標値	2	3	5	2
実績値			2	8	8		
達成率			100.0	266.7	160.0		
	校	目標値					
		実績値					
		達成率					
	校	目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		多くの学校施設は、築30年を超える状況であり、老朽化に伴い各学校から改修の要望が増加している。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 緊急度の高い施設を優先的に実施するとともに、耐震化工事の終了後、計画的な改修を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	老朽化施設が増えてくることにより、基本的に対象となる施設が増える。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 17	事業名	小中学校施設整備事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美	電話	72-3164	内線	403	
前年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	田口 昇					
予算科目	会計	一般会計 (10款 2・3項 3目)			事業名	小学校施設整備事業費、中学校施設整備事業費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	耐震改修促進法、建築基準法										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 不詳年度 ~ 未定年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	各小学校	→	対象数 13校
	各中学校	→	対象数 8校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	安全で豊かな学校施設を確保するため各種整備事業を実施する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	総合計画に基づく学校施設整備事業 ・耐震診断及び耐震改修事業 ・暖房設備改修事業 ・老朽化等に伴う大規模改修事業		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成23年度までに必要な学校についての耐震診断が完了した。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取り組んだ事項とその成果			
・学校耐震化改修を重点的に取り組んだ。 ・児童数の増加に伴う緑苑台小増築に取り組んだ。 ・地域暖房供給事業終了に伴う暖房改修に重点的に取り組んだ。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			国庫支出金	千円	67,198	
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	19,915	25,148	471,070	18,000
	小計(A)	千円	87,113	25,148	697,799	21,000
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.35	0.65	0.65	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	3,085	6,181	6,181	・公立学校施設整備費 国庫負担金 補助率1/2
	その他間接経費	千円				・学校施設環境改善交付金 補助率1/3
	小計(B)	千円	3,085	6,181	6,181	
総コスト(A)+(B)		千円	90,198	31,329	703,980	

事業費の用途等	学校耐震化(設計・改修)	72,227 千円
	大規模改修事業	421,031 千円
	暖房改修事業	85,607 千円
	学校増築事業	118,934 千円

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	耐震診断実施学校数	校	目標値	12	-	1
実績値				12	-	1	
目標:事業計画				達成率	100.0	#VALUE!	100.0
耐震補強改修事業実施学校数		校	目標値	2	-	3	2
			実績値	2	-	3	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#VALUE!	100.0
大規模改修事業実施学校数		校	目標値	1	-	3	1
			実績値	1	-	3	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#VALUE!	100.0

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	成果指標	学校耐震化率	%	目標値	80.8	86.3	94.7
実績値				80.8	86.3	94.7	
目標:事業計画				達成率	100.0	100.0	100.0
大規模改修実施施設数		棟	目標値	2	0	5	1
			実績値	2	0	5	
			目標:事業計画	達成率	100.0	#DIV/0!	100.0
				目標値			
				実績値			
				達成率			

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		耐震補強工事に併せて、老朽化が著しい施設の大規模改修工事を予定していたが、東日本大震災後、国の交付金採択は耐震化や安全対策を優先する状況となっている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 耐震化工事の終了後、老朽施設大規模改修を中心に計画的な改修を実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	現行のペースで順次耐震化を図る。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 18	事業名	スクールバス運行事業								
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美	電話	72-3169	内線	403	
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	寺嶋 英樹					
予算科目	会計	一般会計 (10款 2項 1目)			事業名	小学校管理運営費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 55 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)										
	遠距離通学児童・生徒がいる小中学校							→	対象数	10 校	
	スクールバスを利用した校外学習等を計画する小中学校							→	対象数	21 校	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)										
	通学が困難な地域の遠距離通学児童・生徒の通学利便性を確保する。 学校が計画する校外学習等の円滑な実施を図る。										
	→ 成果指標										
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)										
	・民間事業者と長期運行契約を締結する。 ・児童生徒の登下校、校外学習等に合わせた運行調整を行う。										
	→ 活動指標										
	④事業実施の背景・個別計画等										
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等											
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果											

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業の コスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	51,695	50,981	50,981	51,082	
	小計(A)	千円	51,695	50,981	50,981	51,082	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.30	0.30	0.22	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.45	0.40	0.70	
		従事正職員の人件費	千円	6,610	6,657	8,748	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	6,610	6,657	8,748		
総コスト(A)+(B)		千円	58,305	57,638	59,729		

事業費の 用途等	【委託費】 石狩 人件費:12,193千円 車両維持費6,854千円 計:19,047千円 厚田 人件費:12,798千円 車両維持費8,573千円 計:21,371千円 浜益 人件費: 6,757千円 車両維持費3,806千円 計:10,563千円
---------------------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	登下校運行日数	日	目標値	213	213	213	216
実績値				213	213	213		
目標:運行計画				達成率	100.0	100.0	100.0	
校外学習利用日数		日	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
			実績値	118	101	114		
			目標:運行計画	達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値					
			実績値					
			達成率					
成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	登下校利用者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
実績値			312	280	306			
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!			
校外学習利用回数			回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	269	162	151	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値					
			実績値					
			達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている ● 中位 ○ 上がっていない	効率性	費用対効果	● 高い ● 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい ● 中位 ● 小さい
	施策への貢献度	● 高い ● 中位 ● 低い		事業の実施方法	● 効果的 ● 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき ● 民間等でも実施可能 ● 民間等が実施すべき
現状の課題		老朽化の著しい車両があるため、計画的な更新に努める。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 児童生徒を安全に送迎するため、今後も継続的に実施する。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	地域にとって、最も効果的になるよう、常に改善の視点を持ってあたりたい。						

事業に対する市民意見等							

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
		○ 上がっていない			● 低い			● 小さい
	施策への貢献度	● 高い	事業の実施方法	● 効果的	優先性	施策内における優先度	● 高い	
		● 中位		● 中位			● 中位	
	● 低い		● 改善の余地あり			● 低い		
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 20	事業名	スクールカウンセラー設置事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-6798	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博			
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育支援センター事業費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 7 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒、保護者及び教員等	→	対象数 7,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	児童生徒や保護者などの悩み、精神的不安を解消・軽減し、児童生徒が良好な学校生活を送ることができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
市内中学校にスクールカウンセラー(臨床心理士 ※以下SCとする)を週1~2回配置する。 ※道費4名、市費1名 <SCの業務> ・児童生徒や保護者等からの相談に対応し、不安の解消や心のケアを行う。 ・長期欠席児童生徒や問題を抱える児童生徒に対し、家庭訪問や電話並びに保護者への支援も行う。			
④事業実施の背景・個別計画等			
平成7年度に文部科学省が不登校や問題行動の未然防止や早期発見、早期解決のため、児童生徒や保護者が悩みや不安、ストレスを解決することを目的に「心の専門家」であるSCを全国全ての中学校に配置をすすめてきた。			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
議会などで、市内小中学校全てにSCを配置し、勤務日数も増やすべきとの意見があった。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	1,008			
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円	1,554	2,075	2,160	2,863	
	小計(A)	千円	2,562	2,075	2,160	2,863	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.15	0.25	0.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,322	2,377	2,377	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	1,322	2,377	2,377		
総コスト(A)+(B)		千円	3,884	4,452	4,537		
事業費の用途等	・スクールカウンセラー報酬 1,965千円 ・相談用携帯電話料 195千円						

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	スクールカウンセラー年間活動延べ日数	日	目標値	344	320	312	288
実績値				344	320	304		
達成率				100.0	100.0	97.4		
目標:事業計画				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
	達成率							

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	成果指標	相談件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				585	669	719		
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
	達成率							

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決を図るために、これまで以上に教職員等との連携を密にしてい く必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 学校とスクールカウンセラー、ふらっとくらぶ(教育支援教室)及びその他関係機関等の意見を十分聞きながら、 引き続きスクールカウンセラーの勤務日数の増など改善に向けて取り組む。						
	【参考】前年度 2次(部長)評価	スクールカウンセラーがさらに機能発揮できる環境やシステムについて、検討・改善を図る。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	大きい
		中位			中位			中位
		● 上がっていない			低い			小さい
	施策への貢献度	● 高い	事業の実施方法	効果的	優先性	施策内における 優先度	高い	
		中位		中位			中位	
	低い		改善の余地あり			低い		
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 21	事業名	不登校児童生徒支援事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	4	いじめなどの問題や不登校への対応						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-6798	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博			
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育支援センター事業費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 13 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	長期欠席児童生徒	→	対象数 92人
	市内小中学校	→	対象数 21校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	長期欠席児童生徒の学校復帰及び社会的自立を支援する。 長期欠席児童生徒の復帰に向けた学校環境を整備する。		→ 成果指標
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市教育支援教室(ふらっとくらぶ)の運営 ・集団生活への適応・情緒の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善のための相談・適応指導を行う。 ・地域コーディネーター(不登校担当)4名、学生ボランティアを配置する		→ 活動指標
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
不登校児童生徒をふらっとくらぶにつなげるための地域コーディネーターによる家庭訪問を開始した。			

		単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)	
事業のコスト	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	1,818	1,832	1,356	1,356
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源		千円	5,067	3,246	6,820	6,849
	小計(A)		千円	6,885	5,078	8,176	8,205
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.30	1.25	1.25	特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				スクールソーシャルワーカー活用事業
		従事正職員の人件費	千円	2,644	11,886	11,886	
その他間接経費		千円					
小計(B)		千円	2,644	11,886	11,886		
総コスト(A)+(B)		千円	9,529	16,964	20,062		
事業費の用途等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーター配置 7,751千円 ・地域、学生ボランティア謝金 168千円 ・その他経費 257千円 						

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	ふらっとくらぶ在籍者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				11	10	13	
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
ふらっとくらぶ開設日数		日	目標値	236	238	238	未設定
			実績値	236	238	238	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	学校復帰人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値			17	15	16		
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
目標値							
実績値							
達成率							
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 ● 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 ● 改善の余地あり		行政の関与	市が実施すべき ● 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		不登校児童生徒数が抱える課題は複雑化、多様化しており、これに対応できる人材の確保と在籍校などとの連携を図っていく必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 ・不登校児童生徒やその保護者に対して、家庭訪問等の支援方策を関係機関と協議しながら、引き続き改善に向けて取り組む。 ・ふらっとくらぶの運営等について、市民団体等との協働を検討していく。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	・不登校児童生徒や保護者への家庭訪問等の支援方策を関係機関と協議しながら、改善していく。 ・ふらっとくらぶの運営等について市民団体等との協働を検討する。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映	効率性	費用対効果	高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
有効性	期待する成果	上がっている 中位 上がっていない	事業の実施方法	効果的 中位 改善の余地あり	優先性	施策内における優先度	高い 中位 低い	
	施策への貢献度	高い 中位 低い						
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 27	事業名	教育振興会活動支援事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	7	その他							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育振興会拠出金				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市教育振興事業拠出金交付要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市教育振興会	→	対象数 1 団体
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	石狩市の教育活動の質的な向上を図るための活動を支援する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研究や研修活動を行う石狩市教育振興会の活動費の一部を交付する。 ・上記を通して、石狩市校長会・教頭会等の活動を支援する。 ・振興会により研究成果の発表を開催する。 			
④事業実施の背景・個別計画等			
教育プランにおいて、教職員の資質向上に向けた研修・研究活動の支援を位置づけている。			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
毎年、石狩市予算要望委員会から振興会への支援充実について要望されている。			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円		4,857	5,153	4,953	4,953
小計(A)	千円		4,857	5,153	4,953	4,953
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.10	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	881	951	95	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	881	951	95	
	総コスト(A)+(B)	千円	5,738	6,104	5,048	

事業費の用途等	団体の事業費		うち市拠出金の額	
	運営費	476 千円	0 千円	
研究部費				
うち専門部会	1,791 千円		1,679 千円	
うち特別委員会	1,355 千円		1,271 千円	
うちその他	2,136 千円		2,003 千円	

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24	
	活動指標	学校課題研究発表校	校	目標値	1	1	1	1
実績値				1	1	1		
達成率				100.0	100.0	100.0		
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
				達成率				
成果指標		指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
		学校課題研究発表参加人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値				27	12	65		
達成率	#VALUE!			#VALUE!	#VALUE!			
目標値								
実績値								
達成率								

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
	● 上がっていない	● 低い		● 事業実施の意義	● 小さい			
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき
● 中位		● 中位	● 民間等でも実施可能					
		● 低い		改善の余地あり		● 民間等が実施すべき		
現状の課題		新たな課題への対応が必要なため、関係機関とも連携し活動内容の充実に努める。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 教育活動の充実・活性化を図るため、今後も継続的な支援を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	児童・生徒の教育活動の充実・活性化のための貢献度も高いため、今後においても継続的な支援を行う。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
	● 上がっていない	● 低い		● 事業実施の意義	● 小さい			
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき
● 中位		● 中位	● 民間等でも実施可能					
		● 低い		改善の余地あり		● 民間等が実施すべき		
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 28	事業名	学校給食事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	施策(小)	7	その他						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	佐々木 浩	電話	64-0876	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	内村 裕之			
予算科目	会計	一般会計 (10款 6項 2目)			事業名	給食センター管理運営費			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)								
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
根拠法令、条例等	学校給食法、石狩市学校給食センター条例、石狩市学校給食センター条例施行規則								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 42 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	小中学校の児童・生徒	→	対象数 5,182 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	安全・安心でバランスの取れた学校給食を安定して供給できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
<ul style="list-style-type: none"> 調理、配膳業務を石狩市公務サービス(株)に対して委託する。 配送業務を民間の運送業者に対して長期契約をする。 検食は、給食センター及び学校等で行う。 			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対するの関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	232,454	243,299	274,336	280,864
	一般財源	千円	193,070	187,348	133,740	182,996
	小計(A)	千円	425,524	430,647	408,076	463,860
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.00	1.50	1.50	特定財源名及び補助率・充当率 給食費収入
	正職員(原田学校給食センター、生涯学習部課)	人	0.20	0.20	0.20	
	従事正職員の人件費	千円	10,576	16,166	16,166	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	10,576	16,166	16,166	
総コスト(A)+(B)		千円	436,100	446,813	424,242	

事業費の用途等	<ul style="list-style-type: none"> 調理・配膳業務等 80,695千円 配送業務 22,890千円 その他センター管理運営等 30,155千円 食材料 274,336千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	給食提供日数	目標:事業計画	日	目標値	190	190	190
実績値				190	190	190	
達成率				100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	調理数	目標:事業計画	食	目標値	953,540	952,470	962,031
実績値				953,540	956,987	977,983	
達成率				100.0	100.5	101.7	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	市が実施すべき ● 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		東日本大震災により、食材の確保が厳しくなり、献立の工夫をするなど栄養価の充足率を補っている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 PFIも含めた手法の検討を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	通常の事業のほかに建て替え等の検討事業を加える。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	● 効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 29	事業名	給食センター維持管理事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	7	その他						
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	佐々木 浩	電話	64-0876	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター	課長	伊藤 和哉	担当	内村 裕之			
予算科目	会計	一般会計 (10款 6項 2目)			事業名	給食センター管理運営費、改修事業			
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)								
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 42 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	給食センター	→	対象数 3箇所
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	滞りなく給食業務が行われるよう良好な状態に保つ。		→ 成果指標
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
給食センター施設設備の修繕と設備の保守点検を行う。		→ 活動指標	
<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備修繕 設備点検 			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	4,761	13,572	26,990	15,851
	小計(A)	千円	4,761	13,572	26,990	15,851
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.30	0.50	0.50	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員(厚田学校給食センター)	人	0.10	0.15	0.15	
	従事正職員の人件費	千円	3,525	6,181	6,181	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	3,525	6,181	6,181	
総コスト(A)+(B)		千円	8,286	19,753	33,171	

事業費の用途等	修繕費	18,487千円
	保守点検	7,112千円
	その他管理費	1,391千円

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	施設修繕の件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	52	44	37	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
保守点検の件数	件	目標値			未設定		
		実績値			17		
		達成率			#VALUE!		
			目標値				
			実績値				
			達成率				

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	施設運営上の事故発生件数		目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
目標:0件							
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 上がっていない	効率性	費用対効果	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 低い	妥当性	事業実施の意義	<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 小さい
	施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 低い		事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり		行政の関与	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 民間等でも実施可能 <input type="checkbox"/> 民間等が実施すべき
現状の課題		3施設とも老朽化による修繕が増加しており、建替え等を早期に行う必要がある。						
今後の方向性	事業内容	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手法改善 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 継続・維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 施設の建替え又は民間委託(PFI)等を含め、手法の検討を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	施設の建替え又は民間委託(PFI)を含め、今後のセンターのあり方を検討する。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長					
市民意見等に対する回答		<input type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 一部反映 <input type="checkbox"/> 不採用 <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 参考					
有効性	期待する成果	<input type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 上がっていない	費用対効果	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 低い	妥当性	事業実施の意義	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 小さい
	施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 低い	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 中位 <input type="checkbox"/> 低い
現状の課題							
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手法改善 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 継続・維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止					

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 30	事業名	奨学金支給事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	施策(小)	7	その他							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 5目)			事業名	奨学金支給事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市奨学金支給条例									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 49 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	経済的な理由によって修学困難な学生、生徒	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	学生、生徒を修学しやすくする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
	奨学金を支給する。 ・選考基準(経済的理由のために進学のために恵まれない者又は修学が困難な者について、学業、身体、家計などについて検討)に基づき奨学生を選考する。 ・奨学金は年2回支給(月額:高校5,000円、大学7,000円、入学支度金:高校5,000円、大学10,000円)		
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
年2回に分けて支給していたが、支給時期を7月1回に変更した。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	3,292	3,238	3,481	3,826
	一般財源	千円				
	小計(A)	千円	3,292	3,238	3,481	3,826
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.20	0.20	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				石狩市奨学基金(100%)
	従事正職員の人件費	千円	881	1,902	1,902	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	881	1,902	1,902	
総コスト(A)+(B)	千円	4,173	5,140	5,383		

事業費の用途等	奨学生への奨学金支給	3,481千円
---------	------------	---------

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	申請件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	70	92	84	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	支給人数	人	目標値	47	49	51	
			実績値	47	47	50	
			達成率	100.0	95.9	98.0	
目標: 予算措置数		目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 中位			● 中位			● 中位
	● 上がっていない	● 低い		● 事業実施の意義	● 小さい			
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき
● 中位		● 中位	● 民間等でも実施可能					
		● 低い		改善の余地あり	● 民間等が実施すべき			
現状の課題		基金を原資としていることから、将来的な財源確保が必要である。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止						
	【参考】前年度2次(部長)評価	当面、現状どおりとする。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
有効性	期待する成果	● 反映	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		● 一部反映			● 中位			● 中位
		● 不採用			● 低い			● 事業実施の意義
	施策への貢献度	● 実施済み		事業の実施方法	● 効果的		施策内における優先度	● 高い
		● 参考			● 中位			● 中位
		● 低い	改善の余地あり	● 優先性	● 低い			
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 31	事業名	中学校体育連盟活動支援事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	7	その他							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	中学校体育連盟補助金				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市中学校体育連盟補助金交付要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	・石狩市中学校体育連盟	→	対象数 1 団体
	・中体連大会に参加する参加数	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	中学校での体育、スポーツの振興と競技力の向上を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
石狩市中学校体育連盟の運営及び事業に係る経費を交付する。 中学校体育連盟主催の管内、全道、全国大会に派遣する経費の一部を交付する。			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		国庫支出金	千円			
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円		2,155	2,142	1,555	2,155
小計(A)	千円		2,155	2,142	1,555	2,155
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.05	0.05	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	441	475	95	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	441	475	95	
	総コスト(A)+(B)	千円	2,596	2,617	1,650	

事業費の用途等	【中学校体育連盟拠出金】 ・管内連盟負担金 365 千円 ・大会運営費等 629 千円 ・その他の経費 111 千円 【中体連大会参加者への補助金】 450 千円
---------	---

活動指標	指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
	市中学校体育連盟運営大会数	目標:事業計画	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	2	2	2	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	市中学校体育連盟運営種目数	目標:事業計画	種目	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	8	8	8	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値					
			実績値					
			達成率					

成果指標	指標名		単位	項目	H21	H22	H23	H24
	全国・全道・管内大会参加種目数	目標:事業計画	種目	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	13	14	12	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	全国・全道・管内大会派遣人数	目標:事業計画	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	450	626	469	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値					
			実績値					
			達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		昨今の経済状況下、部活動に係る保護者負担面や指導者確保面から大会の参加や運営が困難になってきている。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 中学校におけるスポーツの振興・競技力の向上を図るため、今後も継続的な支援を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	中学校におけるスポーツの振興及び競技力の向上に対する貢献度も高いため、今後においても継続的な支援を行う。						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	27 - 32	事業名	中学生文化関係コンクール等参加活動支援事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	7	その他							
平成24年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	池田 幸夫	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	中学校文化関係コンクール等参加費補助金				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市中学校文化関係コンクール等参加費補助金交付要綱									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	文化関係コンクール等に参加する生徒	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) → 成果指標		
	中学校文化活動の振興を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) → 活動指標		
管内、全道、全国の各コンクールに参加する経費の一部を交付する。			
④事業実施の背景・個別計画等			
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	60	0	0	550
	小計(A)	千円	60	0	0	550
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.05	0.05	0.01	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	441	475	95	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	441	475	95	
総コスト(A)+(B)		千円	501	475	95	

事業費の用途等	
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	全国・全道・管内コンクール参加学校数	校	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1	0	0	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	全国・全道・管内コンクール参加生徒数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	40	0	0	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		行政の関与	● 市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		平成23年度は実績がなかったが、今後の事業の推移をみる必要がある。						
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 中学校における文化活動の振興を図るため、今後も継続的な支援を行う。						
	【参考】前年度2次(部長)評価							

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映 一部反映 不採用 実施済み 参考						
有効性	期待する成果	● 上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い ● 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	● 高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 ● 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止						